

■ 開設年度		■ 開講部局	
2019		共通教育	
■ 科目名			
アメーバ経営における稲盛経営哲学			
■ 英語科目名			
The amoeba management based on Inamori management philosophy			
■ 前後期	■ 開講区分	■ 科目形態	■ 単位数
後期	毎週	講義	2
■ (2 8 年度以降入学生) 中分類		■ (2 8 年度以降入学生) 小分類	
教養教育科目(教養基礎科目)		人文社会科学分野(選択科目)	
■ (2 5 年度以降入学生) 中分類		■ (2 5 年度以降入学生) 小分類	
b. 知力：人文・社会科学		2. 自己確立・他者理解を学ぶ	
■ (2 4 年度以前入学生) 大区分		■ (2 4 年度以前入学生) 中区分	
教養科目		分野2	
■ 受講学部学科			
全学部			
■ 担当教員		■ 担当教員所属	
牧原千尋		稲盛アカデミー	
■ 連絡先 (TEL)		■ 連絡先 (MAIL)	
099-285-8329		k1909615@kadai.jp	
■ オフィスアワー (授業時間外の対応)			
メール対応可 (面談希望の場合は事前にメール連絡のこと)			
■ 共同担当教員			
未定			
■ アクティブ・ラーニング			
■ アクティブ・ラーニング (「その他」の内容)			
■ アクティブ・ラーニング (授業回数)			
■ 理念 重要視する教育目標			
6 . 実践 2) 課題の解決に向けて主体的に行動できる			
■ 理念 教育目標			
3 . 論理的思考 1) 幅広い視野から課題の解決策を考えることができる			
■ 理念 教育目標			
7 . 他者との協働 1) 自身の責任や立場を理解し、自覚的に行動できる			
■ 理念 教育目標			
■ 授業概要 (目的・内容・方法)			
京セラ (株) が創業間もないころ、事業規模を次第に大きくしていく過程で、組織をどのようにコントロールしたらいのかという、創業者の稲盛和夫氏の事業運営に関する素朴な悩みから閃いた、独自の経営手法である「アメーバ経営論」について、その経営手法が生まれた背景を詳しく辿り、アメーバ経営論の概念の学習を通じて、その根幹に宿された稲盛経営哲学の神髄を正しく理解することを目的とする。 よって、本講義では「アメーバ経営論」の基礎を学びつつ稲盛経営哲学を広く理解することに努める。			
■ 学習目標			
1.アメーバ経営の生まれた背景を理解すること。 2.組織を小集団に分けることの意味について学ぶ。 3.管理会計の基礎について学びアメーバ経営論との比較を行う。			
■ 授業計画・試験の有無 (1 6 回 [初修語は 3 1 回] に分け、回数、授業内容、自学自習等)			
1. 働くこととは何かについて考える。 2. 企業運営には「理念」、「経営目標」が必要であることについて考える。 3. 企業活動における、従業員から見た事業運営について考える。 4. 財務会計と管理会計の基礎について学ぶ。 (1)			

5. 財務会計と管理会計の基礎について学ぶ。(II)
6. アメーバ経営論の生まれた背景について学ぶ。
7. アメーバ経営について、その基本的な考え方を学ぶ。
8. 時間当たり採算表の概念について学ぶ。(I)
9. 時間当たり採算表の概念について学ぶ。(II)
10. アメーバ経営における「会計の原則」について学ぶ。
11. 事業運営におけるリーダーの役割について考える。
12. 困難に打ち勝つためには何が必要かについて考える。
13. 仕事を向上させるためには何が必要か考える。
14. 真の経営を行うためには何が必要か学ぶ。
15. 心をベースとした企業とするためには何が必要か学ぶ。
16. 期末レポート

■授業外学習(予習・復習)

配布資料を中心に復習をし自分の考えを整理しフィードバックシートを作成すること。

■受講要件	■成績の評価基準
	毎回のフィードバックシートの提出(50%) 期末レポート(50%)
■教科書	■参考書
書名：アメーバ経営(日経ビジネス人文庫) 著者：稲盛和夫 出版社：日本経済新聞出版社 出版年：2010年 ISBN-10: 4532195578 ISBN-13: 978-4532195571	書名：どう生きるか なぜ生きるか 著者：稲盛和夫 出版社：サンマーク出版 出版年：2008年 ISBN: 978-4-7631-9831-0 C0030
■地域志向科目の区分(平成27年度入学生用)	■地域志向科目の区分(平成28年度以降入学生用)

■その他